

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 公表

公表: 令和5年3月18日

事業所名 ちゃいるどサポートかのん

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2		場合によっては少々厳しい場面もあるが、スタッフ間で協力出来ている。	調整を図ったりしながら円滑な運営に努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		トイレに介助バー付き。肢体不自由児でも使用できる。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			年一回のアンケート実施。結果スタッフ間で改善に向けた話し合いが出来ている。	全職員で意識を持って対応していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			法人HPで公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				事業所内や法人内での研修に参加。制度や特性の理解を深めて支援につなげたい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			半年ごと定期的に見直しをし保護者と面談をしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			常にミーティングで共有している。	タイムラグはあるが提供する支援や活動プログラムは共有する意識を継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			創意工夫をしながら教材選定が出来ている。利用児も楽しみな表情を見ると嬉しい。	領域や目標・視点の置き方をスタッフ間で共有を事前に済ませた上で活動プログラムの実行に繋がっている。振り返りを行いながらサイクルを円滑に回していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			社会訓練や長期時の利用での特別プログラムなどを企画して訓練している。	どういう訓練を通してお子様の力に還元できるを優先にスタッフ間で話し合い出来ている所は良い。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			一日2回のミーティングを行い、チームでの動きの確認を行なっている。	ホワイトボード等での記載も並行している。忙しさを漏れがない様にしている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		基本的には行っているが全職員が取り組んでいるわけではなかった。		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6					
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6					
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6					
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6					
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		6			医ケア児を受け入れる予定がない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3			児童発達支援事業所とは連携している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3			センターが無い。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6					
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6					
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6				毎年実施している。職員または保護者の参加が継続している。	ペアレントプログラムへの積極的な参加を今後も促したい。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			対応時に説明している。	全職員が把握しておく必要がある。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6					

責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	2		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				苦情についてはしかと受け止め、全職員で改善に向けて対応していく。
非常時等の対応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			社会訓練などの様子や実際の支援の様子を写真等で見てもらう機会を設けている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	6				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4			
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6				スタッフ間でもう一度振り返り、身に付けられるようにマニュアルの読み合わせなど行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年に数回訓練を実施。利用児と一緒にに行っている。	訓練の実施有無を保護者に分かるように周知していきたい。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			研修会や定例会議に出席。		
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1			身体拘束禁止についてのマニュアルや規約の読み合わせを実施して理解を深める。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3		現在該当者がいない。		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6				ヒヤリハットを防ぐための潜在意識については共有している。	